

(課題名) 免疫組織化学染色を用いた腫瘍の治療標的分子の病理学的検討

1. 研究の意義、目的、方法

基礎実験で標的とする事で抗腫瘍作用の見込まれた遺伝子につき、これらの発現を胃癌、胃悪性リンパ腫、肺癌、乳癌、脳腫瘍を対象とした手術切除標本、生検標本および病理解剖症例の上記腫瘍標本で免疫組織化学染色にて判定し、新規診断マーカーや治療標的分子としての有用性を判定する。基礎研究から見出した分子の発現を、実際のヒト腫瘍組織で検証する事を効率的に進める本申請により、がん治療に有効な分子標的の選別がスムーズにでき、将来的な治療化合物の開発に繋がると見込まれる。

2. 研究機関名

秋田大学大学院医学系研究科

3. 研究に係る研究者等の氏名

秋田大学大学院医学系研究科 分子生化学講座 教授 田中正光

秋田大学大学院医学系研究科 分子生化学講座 准教授 栗山 正

秋田大学大学院医学系研究科 分子生化学講座 助教 伊藤 剛

秋田大学大学院医学系研究科 器官病態学講座 教授 後藤明輝

秋田大学大学院医学系研究科 器官病態学講座 准教授 前田大地

4. 開示等の求めに応じる手続方法、苦情の申出先及び問い合わせ先

研究内容については秋田大学医学研究科の講座ホームページおよび臨床研究支援センターのHPに掲載する。

更なる開示の求め、苦情の申出及び問い合わせ先：

連絡先電話 018-884-6078 秋田大学大学院医学系研究科 分子生化学講座

研究責任者：教授 田中正光